# Goal 9

# 産業と技術革新の基盤をつくろう

INDUSTRY, INNOVATION AND INFRASTRUCTURE

#### ●この目標(Goal)の解説

生活や産業などの経済活動を営む上で不可欠な社会基盤(インフラ)を 整備することで、以前は取り組めなかった貧困、教育、医療アクセス等の 諸課題の対処・福祉の増進を目指す目標。





不安定なインフラ 揺れる生活

インフラとは、生活や産業などの経済活動を営む上で不可欠な社会基盤、公共の福祉を 目的として、整備・提供される施設のことを指します。

(例:道路、鉄道、上下水道、電気、電話網、通信網、学校、病院、湾港、ダム)

現在、世界には約26億人が不安な電力供給の中で生きていたり、約8億人が安定して水 を得られない生活をしています。インフラ整備の不足によって、子どもが井戸から水を 汲むために学校へ通えなかったり、産業化の遅れとともに経済成長も遅れてしまう等の 問題が起きています。

#### 【基礎インフラの整備によって】

「生活水準の向上」と「持続可能な産業発展に繋がる技術革新」の実現を目指します。

#### 【インフラ整備で実現することの例】

- ・上下水道の整備で安全な水の確保が簡単になり… 子どもが学校に行けるようになったり、大人が働く時間を作ることができます。 不衛生な水を飲まずに済み、病気のリスクを下げることに繋がります。
- ・電気、電話網、通信網が整備されることで… インターネット等を活用した技術革新が可能になり、産業化と雇用増加に繋がります。

## ●大学生協での実践事例



#### 東京工業大学生協

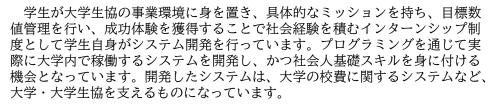
## 研究室紹介冊子LANDFALL

大学生の一番の悩みといえば、研究室(ゼミ)選びです。未来の技術者を支 えるために、東工大の研究室の実態や研究内容を紹介する冊子を作っています。 また、この冊子は、組合員自身が自分たちで研究室に足を運び、教職員の方々 と直接話を伺うことで、公正公平な情報を自分たちの仲間のために発信するこ とを心がけています。産業と技術革新の基盤をつくっていく、研究生の生活を 支えるための取り組みです。



#### 大阪大学生協

## System Solution Team



## ●この目標に対して私たちができること